

クローズアップ

江戸時代の七ヶ宿は「ゴールドラッシュ?」

先日、町内の旧家から江戸時代初期に作成されたと思われる一枚の絵図が発見されました。絵図には、稲子周辺が描かれています。同じような絵図は、宮城県図書館に保存されている「仙台藩刈田郡湯原村と幕府領伊達郡茂庭村、山境御論所絵図」です。

どちらの絵図にも、稲子周辺に四力所の金山の印▲が記載されています。その中で、わざわざ沢金山は寛永五年（1665）に発見され、多くの人が集まって山小屋が百軒程建ち並び、三年間「金」の採掘が行われたと「湯原村御境論争」という古文書に書かれています。

まさに「ゴールドラッシュ」です。この金山で採掘された金の運上金（税金）は、仙台藩に納められた記録があります。

そのため、湯原村と茂庭村の境争いは、寛文九年（1669）に幕府老中達役人より湯原村の言い分が認められ、湯原村の勝訴で終わりました。



▲旧家で発見された稲子地区金発掘場所の絵図



▲宮城県図書館蔵絵図

因みに、明治時代に書かれた文書に、江戸時代の七ヶ宿には、金・銀・銅などの鉱山は、稲子わさび沢金山、湯原金山など実に十カ所あったと書かれています。今回発見された絵図や宮城県図書館に保存されている絵図から、多くの七ヶ宿町の歴史が読み取れます。



高橋正雄さんよりお話を伺いました
（七ヶ宿町文化財保護委員、湯原区長）

あなたも議会の傍聴をしてみませんか

次回の議会定例会は令和8年6月3日から5日の会期で行われます。
傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお問合せ下さい。

編集後記

春の彼岸が過ぎると、日差しも暖かくしのぎやすい季節となりました。

水芭蕉やダム公園の桜が咲くころには、毎年バイクや車の交通量も増し、訪れた方が七ヶ宿の自然風景を満喫しています。



ダム公園の桜

ダム湖畔の道の駅では地場産のごみやタラの芽などの山菜がたくさん並び、訪れた方を楽しませてくれますので家族連れなどで大いに賑わうことを期待しています。
(吉田)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 吉田 修 |
| 副委員長 | 高橋 浩之 |
| 委員 | 五十嵐 敏夫 |
| 委員 | 高橋 きく子 |

議会だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷ 連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

3月定例会の傍聴者は2名でした